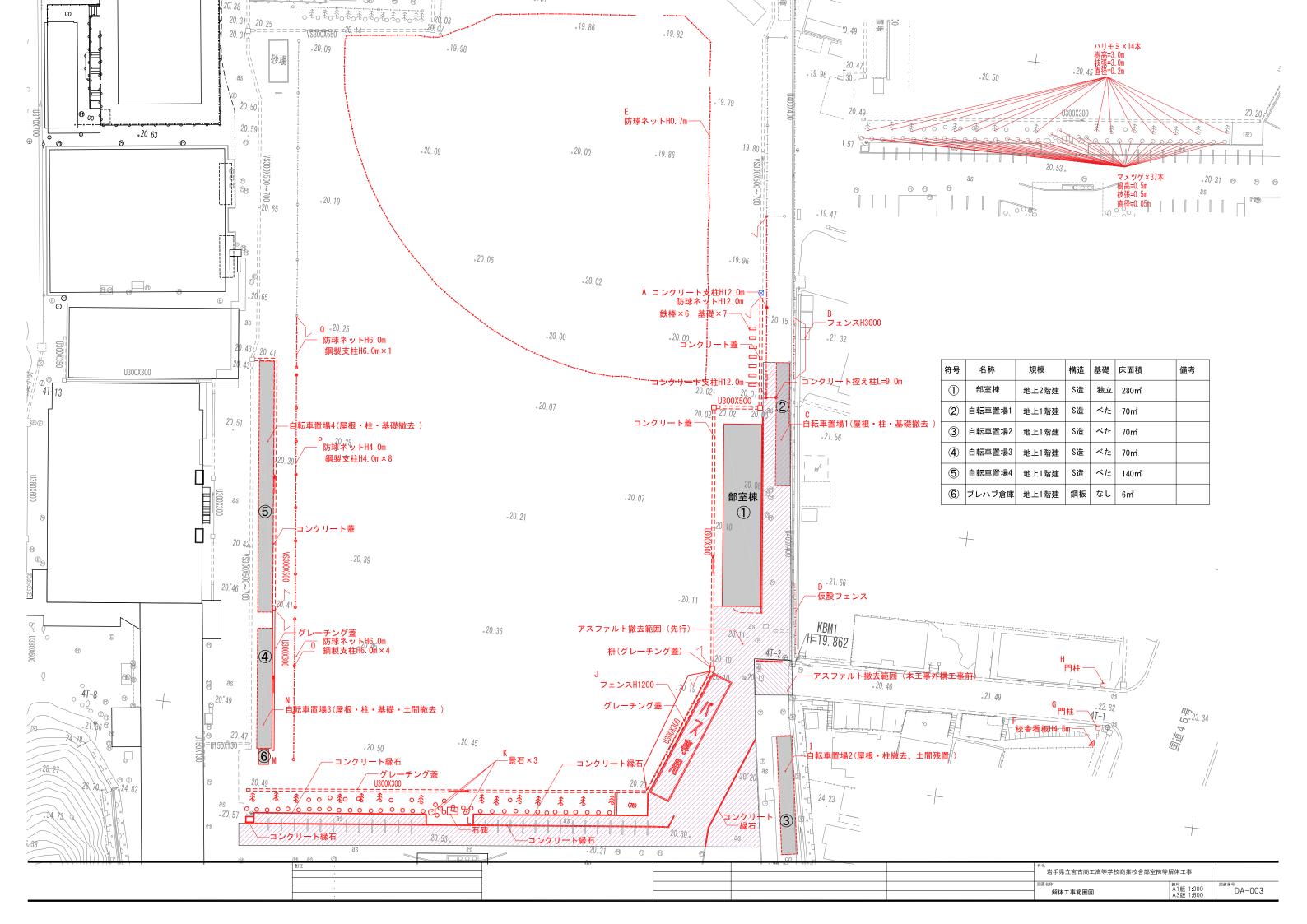
岩手県立宮古商工高等学校商業校舎部室棟等解体工事

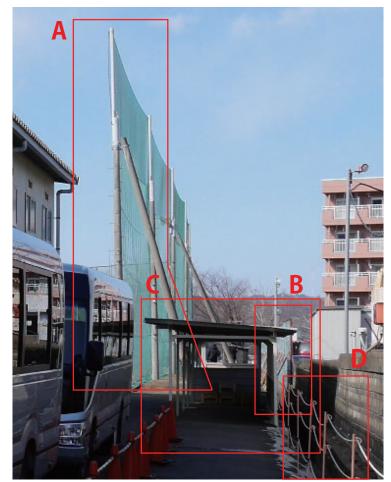
	建築			電気設備				機械設備													
整理番号	図面番号 図面名称	縮尺	整理番号	図面番号 図面名称	縮尺	整理番号	図面番号	図面名称	縮尺	整理番号	図面番号	図面名称	縮尺	整理番号	図面番号	図面名称	縮尺	整理番号	図面番号	図面名称	縮尺
001	IA-OO1 解体工事特記仕様書-1	-	001	DE-OO1 電気設備 解体撤去範囲図(1)	-	001	M-001	機械設備 解体撤去範囲図(1)	-												
002	A-OO2 解体工事特記仕様書-2	-	002	DE-OO2 電気設備 解体撤去範囲図(2)	-	002	M-002	機械設備 解体撤去範囲図(2)	-												
003	A-OO3 解体工事範囲図	1:300	003			003															
0 0 4	A-OO4 解体工作物概要	_	004			004															
005	A-O O 5 部室棟平面図・立面図・断面図	1:100	005			005															
	A-OO6 部室棟仕上表・建具表	1:50	006			006															
-	A-OO7 部室棟矩計図・断面詳細図・天井伏図	図示	007			007															
	A-OO8 階段詳細図・足洗い詳細図	1:30, 1:20	+			008															
-	A-OO9 部室棟平面詳細図・展開図	1:30, 1:50	+			009															
010	如秦桂添华网 甘珠华网 帐子口之上	1:30, 1:100				010															
	地中架リスト・基礎リスト・主間配筋図 MA-011 部室棟軸組図	1:100	+	 		011															
	A-O12 部室棟鉄骨詳細図	1:30	+			012															
	A-O 1 3 部室棟小屋伏図・梁伏図・階段詳細図	1:30	+	+ +		013															
-	A-O 1 4 解体工事仮設計画図(参考図)	1:400	+			014															
015	- propert mans (as of Bell		015			015	\dashv														
016			016			016	\dashv														
017			017	+ +		017	\dashv														
018			018			018	\dashv														
019			019	+ +		019	\dashv														
020			019			020															
021			020			021															
021			021	+ +		021															
023			022			022															
			+			-	\dashv														
024			0 2 4			024															
025			025			025															
026			026			026															
027			027			027															
028			028			028															
029			029			029															
030			030			030	\dashv														
0 3 1			031			0 3 1	-+														
032			032	 		032															
033			033			033															
034			0 3 4			0 3 4															
035			0 3 5			035															
036			036			036															
037			037			037															
038			038			038															
039			039	 		039															
0 4 0			0 4 0			0 4 0															
0 4 1			0 4 1			0 4 1															
0 4 2			0 4 2			0 4 2	\dashv														
0 4 3			0 4 3	 		0 4 3	\dashv														
0 4 4			0 4 4			0 4 4															
0 4 5			0 4 5			0 4 5	\dashv														
046			0 4 6			0 4 6															
047			0 4 7			0 4 7															
0 4 8			0 4 8	 		0 4 8															
049			0 4 9			0 4 9															
050			050			050															

₹ĬĒ.				10分4500000000000000000000000000000000000	+
·	ļ		石士県立呂百岡工商寺子校尚業校吉首	1至 棵 寺 胖 体 上	₽
	ł		図面名称	縮尺 A1 比 反	図面番号
			図面リスト	A3 版	DA-000

建築解体特記仕様書	•				Τ	発注区分、工事範囲			1. 2. 3	工事写真	レナカニ ロボバ	+ Z			発生材は、特記仕様書、図面及び監督職員の指示により、構外搬出処分材とする。 フ 様似の公共は、「
A 工事概要					1	a. 各工事の発注区分及び工事範囲 区分 発注区分番	エデジロガラエデザ	·····································	工事の記録	撮影対象等は「		する。 長領(平成24年版) 同解説/工事写真の撮り方	(建築編)」	発生材の処理	又、構外処分材は、「 廃棄物処理法」に基づき適正な処理をすること。 〇引き渡しを要するもの()
a. 工事名称:	岩手県立宮古商工高等学校商業材	交舎部室棟等解体工事			┨	工事名 1 2 3 建築 ● ● ●	4 5			による他、次の 分類	箇所とする。 規格	撮影箇所	提出部数		〇現場再利用発生材()
		2 m 2 m 3 m 11 = 2				空調●	〇 一式 〇			着工前	サービス版 ()敷地全体	2 部	4節 石綿含有建材の調	I
b. 工事場所:	宮古市磯鶏三丁目91番1ほか					衛生 ● 電気 ●	○ 一式 ○ ○ 一式 ○			1.		D解体建築物全景 1棟毎 D解体外構工作物、設備等毎		1. 4. 1 事前調査	調査報告書の有無 既存報告書 調査等の種類 既存報告書 調査の要否
c. 工敷地面積:	38, 203. 16m²					昇降	O -式 O	DI: 8/407/11.4-7		工事中		●仮設物(仮囲、仮設便所、仮設事務所、工事者	板等) 2部		有・無 貸与の可・否
d. 工事対象施設 :							縦の同列に●印のあるものを同	可し 完圧区分と する				●分別解体の経過状況(作業順) ●基礎解体後の最深部			1. 既存設計図書及び目視調査 ●有 ○無 ●可 ○否 ○行う ●行わない 2. 定性分析調査 ●有 ○無 ●可 ○否 ●行う ○行わない
	棟名称		規模 :2 階建	床面積 280. 00㎡		b. コスト オンと なる工事(工事の利 ● 無 O 有 (類と発注区分)					○杭撒去後の杭先端部(数量確認ができること ●埋め戻し状況	:)		3. 定量分析調査 ●有 ○無 ●可 ○否 ○行う ●行わない 4. その他の調査 ○有 ○無 ○可 ○否 ○行う ○行わない
	2. プレハブ倉庫		上1階	6. 00m²		c. 本工事期間内に行われる発注者[6]	接発注工事) 伐採、伐根状況			調査範囲 3年 3月 3日 3月 3日 3月 3日 3月 3日 3月 3日
	3. 外構工作物 4					O 無 ● 有 (校舎棟	電気 空調 給排水衞生)					●屋外埋設物撤去状況 ○供給設備関係の処理状況			●解体建物全て ○図示による 既存設計図書の状況
	5.					工事区分)公害対策状況			○工事対象建物等全で有り ●工事対象建物等の一部有り ○無い
						a. 設計図による他、分離発注の場合 b. ●印を適用するが、疑義を生じた	下記を工事区分とする。 場合は事前に質問回答書をもって確認する。)解体機械、発生材運搬車両)発生材処分先及び搬入写真		5節 施工調査	
B 解体工事					1	工事区分表)振動、騒音測定状況写真		1. 5. 2	(1)施工に先立ち下記の施工数量調査を行う
1	図面及び本仕様に記載されていない事項	は、国土交通大臣官房官庁営繕	部制定「建築物解体		1	· 	豪 空調 衛生 電気 昇降機	備考		完成時	サービス版	●その他監督員が必要と認め、指示した箇所 ■敷地全体	2 部	施工数量調査	調査範囲 調査方法 OP CB 保管状況 〇種類 〇計測 〇保管記録 〇
共通仕様	工事共通仕様書(令和4年版)」「建築コ	工事安全施行技術指針」、「建設				· 空調設備						解体建物跡全景 1棟毎			〇その他の環境配慮物品 〇種類 〇計測 〇
	要綱(建築工事編)」、「建設副産物適	止処埋推進要綱」による。						 				●解体外構工作物跡、設備等毎 ●その他監督員が必要と認め、指示した箇所			○分別解体に必要な調査 ○種類 ○計測 ○ ○ ○種類 ○計測 ○
2		VF (1 15 abo 4 4 c 1 7				· 昇降機設備	0						 		
設計図書の優先 順位	設計図書の優先順位は建築物解体工事共	通仕禄書1.1.1による。						 		■ この与具は	アンダル与具も叩る	:し、その仕様等は監督員の指示による。			
3	(1)この出海車値はナジテので車に第四十	t z				・屋外埋設浄化槽 (・屋外埋設オイルタンク (0 0		3節 工事現場管理	1				6節 施工	☆
3 特記仕様書の	(1)この共通事項はすべての工事に適用す(2)特記事項は、○印の付いたものを適用					l 	0 0 0		1. 3. 3	電気保安技術者の	配置は次による。			1. 6. 2 技能士	技能士の適用は次による。 ●適用する ○適用しない
適用等	選択記入事項は●印の付いたものを	適用し、〇印は適用しない。					0 0 0		電気保安技術者	●適用する	○適用しなり	,			適用する技能士は次の適り ●解体工事施工技士 ○とび技能士 ○
4						产 庄/广级慎 圣鞭			1. 3. 5	関連工事による施	工時期の調整は次に	こよる。			▼☆☆┴が上が上が上が上が、
用語の定義	特記仕様書で用いる用語の定義は、建築	物解体工事共通仕様書1.1.2によ	る 。						施工条件	●有(内容:新	築工事一式)	〇無			次の工程に達したとき、監督職員の検査を受ける ●アスペスト 今有確対券キ空で時
5	適用基準									休日・作業時間の	旨定			施工の検査	●アスベスト 含有連材掛去完了時 ○環境配慮物品散去完了時
その他	(1)「建設工事に係る資材の再資源化等	等に関する法律(建設J サイクル	法)」		1. 1. 3		必要な届出手続等は請負者が遅延無く行うこと。 当局の監督職員(以下「監督職員」という)に提			1		●祝・祭日 Oその他() 時 分 まで(作業準備 bdthを	÷#~)		●地上建家撒去完了時 ○地下建家撒夫索了時 前
	(平成12年法律第104号) (2)「廃棄物の処理及び清掃に関する法	去律(廃棄物処理法)」(昭和45	5年法律第137号)		官公署その他への 届出手続等	種別、手順、時期寺を一覧表にし 尚費用は請負者の負担とする。	当局の監督職員(以下「監督職員」という)に提	ещ (11) 。		作業時間; 部位別施行順序	時 分から	時 分 まで(作業準備、片付けを: ●指定しない O図示I			〇地下建家撤去完了埋め戻し前 〇杭等撤去完了時
	(3)「建設工事公衆災害防止対策要綱」	(平成5年1月12日 建設省経建	発第1号)			b. 関係官公署その他関係機関の立会	い検査を必要とするものは、監督職員と打ち合せ に報告する	きのうえ		工事用車両の駐車	易所	●工事現場内 ○無			●外構等撤去完了時
	(4)「建設副産物適正処理推進要綱」((5)「建築物の解体工事における外壁の			,1		検査を受け、その結果を監督職員 c. 構内に事業者にて設置された電話	に報告する。 、ガス、TV、電気設備等撤去については請負者が	が事業者		資機材置場所 関係機関等との協	養の未成立事項	●工事現場内 ○無○有(内容: インフラ関連、等)	1. 6. 5	次の工程において監督職員の立会いを受ける
	〔国土交通省〕(平成15年7月)					へ届出を提出し協議を行う。	7 18 A.O			関係機関等との協	差結里	• ±	,	施工の立会い	0 0
	●その他建築物の解体工事等に関し、: こと。	双Eされている 地万条例等を遵 ⁵	可し 適止な対応を行う	,		d. bの検査の結果、不合格の個所が 結果を監督職員に報告する。	5る場合は、すみやかに補正し、必要な手続を行 <i>い</i>	い、ての		- AND BEAUTY OF THE		○有(内容: ●無)		
						e. dの補正に直接要する費用は施工	者の負担とする。		1.2.0	調提由はもしたい	月退化学品 ビディ	ト日学の第二字(- ウ4) マチョナコパナー・・・	1.) トス 告に - 四	7節 工事検査及び技術	l .
6						f. aには下記の廃止届出が含まれる 〇危険物製造所、貯蔵所、取扱所	廃止届出書		1.3.6 施工中の安全確保	現場内はもとより 意し、安全管理を		E民等の第三者に対して危害を及ぼすことのだ	いより市に留		本工事が完了したときは、竣工検査または部分検査に先立ち本検査の1 週間前に監督職員の下 検査を受ける。
関係省令・告示等	告示等の名称 建設工事公衆災害防止対策	制定年月日 告示等番号 平成5年1月12日 建設省経建発	最終改正年月日	告示等番号		○少量危険物・指定可燃物の廃』 ○火を使用する設備(厨屋 ボイ				万一、事故が発生 請負者が負うもの		に監督職員へ報告し、指示を受ける。その責	任については、		完成検査
	建設工事公衆災害防止对束 要綱(建築工事編)	平成5年1月12日 建版省社建党 第1号		-		〇火を使用する設備(厨房、ボイ 〇ぱい煙発生施設廃止届出書	ノ ザ/ 沈正暦山音			請負者が負うもの 同一敷地内で別契		●有 ○無			元成長金 解体、発生材処分後は、マニフェスト 等の整理を行い、施行管理資料として速やかに監督職員
	建筑则产标 这 正加 现带 坐 严 488	建設省経建発	平成14年5月30日	国官総第122号 国総憲第21号		○消防用設備廃止届出書 ○結定施設(軽音規制法 振動者	到注 ★普布洗昨止注〉 注田家 心口山◆			建築物等の解体工		ヤートス			に提出のこと。 空の絵本は 持色多の白土絵本を たって野姫難員の立会 いのト空の絵本を思ける
	建築副産物適正処理推進要綱	平成5年1月12日 第3号	÷ № 19平5月3U日	国総事第21号 国総建第137号		〇特定施設(驗首規制法、振動系 〇浄化槽廃止届出	制法、水質汚染防止法)使用廃止届出書			建築物等の解体工 ●必要		久による。			完成検査は、請負者の自主検査をした上で監督職員の立会いの上完成検査を受ける。 工事完成にあたって下記の書類を監督員に提出する。
	建築工事安全施工技術指針	平成7年5月25日 建設省営監発 第13号	平成27年1月20日	国営整第126号	1 1 4	工事実績情報システム(CORINS)	への登録け ヤニ ト ^ス			近隣との任任生					提出部数は打合せによる。 ①空成果
	「 手すり 先行工法に関するガイド	第13号 平成21年4月24日 厚生労働省基発	_	-	1. 1. 4 工事実績情報システム	●適用する ○適用しない				近隣との折衝等 (1)関係法令に基	づき必要な手順を行	īō.			①完成届 ②引渡書、受領書 に提出のこと。
	ライン」について 労働安全衛生規則	第 0424001号 昭和47年9月30日 労働省令第32号	平成30年2月9日	厚生労働省令	(CORI NS) への登録					(2)工事着手前に 等により知ら		R容を周知するとともに、着手後は週間の作身	は内容を掲示		③官公署及び事業会社の許可書類 ④工事中の重要記録
	ス m ス 上 m 上がだ!		, M00-47/3H	第14号	1. 1. 5	提出書類等				1	せること。 会の開催は次による	0 0			
	石綿障害予防規則	平成17年 平成17年 平成17年 平成17年 平成17年 124日 平成17年 124日 平成17年 124日 平成17年 124日 124日 124日 124日 124日 124日 124日 124日	平成29年6月1日	平成17年 厚生労働省令	書面の書式及び 取り扱い	契約締結後、次の書類を監督職員に a. 現場代理人届(発注者様式)	恵やかに提出すること。			○実施する 解体作業中の騒音	●実施し 吸び振動調査は次に				解体完了後の発注者への提出書類は次による。 ●建物滅失証明書: 各様1 部
		第21号	一級なり下り月1日	第21号改正	4人グ 1人(い	b. 下請負人届(発注者様式)				1	Xの振動調査は次に 定回数 回)	●実施しない			●解体業者の代表者事項証明書: 各棟1 部
	建材中の石綿含有率の分析 方法について	平成18年8月21日 厚生労働基発 第 0821002号	平成28年4月13日	厚生労働基発 0413 第3号		c. 工事工程表(請負者様式) d. 施工計画書				事前調査					●解体業者の印鑑証明書: 各棟1 部 ●除去届: 各棟1 部
	建築物等の解体等の作業を行うに	原生労働省基安	<u> </u>	- 22		e. その他監督職員が指示する書類等				(1)請負者は、必		・盤沈下の状況、近隣建物の壁、建具の建て力			
	当たっての石綿ばく 露防止対策 等の実施内容の掲示について	平成17年8月2日 発第 0802001号		-	2節 工事関係図書	<u> </u>			1	1		査●記録●写真撮影し事後に備えること。さ 与えた場合には、現状に復旧すること。	らに、工事の施	1.7.2 技術検査	中間技術検査は次による。 ○実施する ●実施しない
				厚生労働省	1. 2. 2		契約締結後速やかに監督職員に提出し、承諾を得るこ]	(2)近隣事前調査	の実施は次による。			A R K E	回数 中間検査の時期
	特定化学物質障害予防規則	昭和47年9月30日 労働省令第39号	平成29年6月1日	昭和47年労働省 令第39号改正	施工計画書	1	らたっては、事故防止(特に外壁等の崩落による公 ・等を遵守するほか、特に以下に留意しなければなられ			〇今回工事で	ੀਹ ੇ 0	今回工事で行わない(別途)		第1回 第2回
			•	,		「建築物の解体工事における外壁の崩落	等による公衆災害防止対策に関するガイド ライン		1. 3. 7			関係者の安全確保の為、交通整理員を配置する	。配置期		
1章 各章共通	車 頂				1	15年7月3日付け国土交通省住宅局長通 ガイドラインの抜粋	E)」参照。		交通安全管理	間は工事期間中と 関係機関との協議				2章 仮設工事	I.
早 谷早共理 1節 共通事項	**				4	1	解体対象物の構造、立地条件等を事前に充分調査、	E、把		〇必要(関係相) ●必要なし	`	2算 1収設工事 2節 騒音、粉じん、足	2. 爆等
1.1.1	(1)工事にあたっては、近隣住民や通行人	人に対する安全の確保に努めるこ	٤.		1	1	体工法○解体手順等を決定すること。 するとともに、現状が設計図書と異なることを想?	見定し、各構		1	警備業法第18条に × 人)	規定する特定の種別の警備業務 ●任意	,		解体足場の仕様
一般事項	(2)工事にあたっては、構造物の状況やエ	エ事現場周辺の環境状況を検討し		ί.		造部分の充分な目視確認するとと	もに、特殊構造の建築物の解体にあっては、必要に			○配置しない				騒音・粉じん等の	○枠組足場○単管足場●クサビ足場
	振動規制法等の関係緒法令を遵守し (3)工事施行中に予期せぬ事態や質疑が生		、指示に従い適正な	:			性を考慮した工法を選択すること。 定外の構造、鉄骨の腐食、設備等が判明した場合!	lt, I		特定の種別の警備 (平成17年国家公3)検定等に関する規則)		対策	(1) 防音パネルの設置 ●設ける ○設けない
	処理を行うこと。					事を一旦中止し、監督職員に報告!	た上で、施工計画の修正を検討すること。						B) (-#-24		(2)防音パネルの設置範囲
	(4)工事による発生材は、産業廃棄物処理 監督員の承諾を得て適正に処分する。		冰箱広节を遵守し、				点から、特に①建築物の外周部が張り出している† 外観が構造的に自立していない工法の建築物の解		1.3.9 施工中の環境保全等	「 低騒音型・低振 指定された建設機		≧に関する規定」(平成9年建設省告示第1537	ち)に基つさ、		○図示による ●解体足場設置範囲全面
	(5)請負者は、監督員と随時打ち合わせを行	行い、工程の確認、調整及び工事			1	施工にあたっては、工事の各段階	において構造的な安全性を保つよう、工法の選択			「建設機械に関す	る技術指針」(平原	t3年建設省通知第247号)に基づき、指定され	た排出ガス対	2. 2. 2	仮囲い ^{enu}
	(6)本工事に際し、第三者に対する不測の すること。	v 争以寺に 対心するため、請負業	: 由賠負責仕保険に加	1.		に行うこと。 (5)請負者は、鉄骨造、鉄筋コンクリ	ート 造、プレキャストコンクリート 造等の異種構	準 造の接合部、増		策型建設機械を使 地下埋設物等によ		『ス、一酸化炭素、及びメタンガス等)の発気	への対処、地下	足場等	●設ける ○設けない 仮囲いの仕様
						改築部分と従前部分の接合部等の	解体については、特に接合部の強度等に十分慮した			構造物の撤去時に	5ける周壁崩落事故	な及び転落事故防止の安全対策に十分注意する	こと。		●万能鋼板(H=3.0m) ○波型鉄板(H=) ○単管シート(H=)
					1	計画を作成、工事の実施を行うこ	C .			作業に必要な酸素 現場外に搬出する		『軽油等の危険物は所定の位置に施錠の上保管 :と。	:、右しくは		ゲートの仕様 ●パネルゲート(W=6 m H=3 m)×1ヶ所
										労働災害及びその		5止するための注意と、常時の点検を作業員に	徹底させる		○シートゲート(W= m H= m)× ヶ所 仮設敷鉄板の設置
										こと。 作業開始前に当日	の工事打ち合わせる	: 実施し、公害及び第3者に対する事故防止に	努めること。		●設ける ○設けない
文書番号G73-23-20240301 建物解体3	事 特記仕標書-1					1				1				1	1
				訂正											 岩手県立宮古商工高等学校商業校舎部室棟等解体工事
					•				<u> </u>						
					•					<u> </u>					

3節 仮設物			解体内容		4節 特別管理産業廃棄	物の処理等			6節 石綿含有成仕上塗	参材の除去				
2.3.1 監督職員事務所等	仮設物等の設置 本工事期間中、仮設物等の設置のために敷地内の土地または建物を使用する場合は、申請書 を提出し 承諾を受けること。 現場事務所の設置は次による。		●建築設備 電気設備	内容 OS& OSC ●内部 ●外部引込注 ●内部 ◆建設	5.4.1 特別管理産業 廃棄物の処理等	特別管理産業廃棄物の処理は次に d 種類 OPO8を含む機器類 (照明器具の安定器,変圧器,	よる。 分析調査 保管処分	保管場所及び処分先	6.6.1石綿含有仕上塗 材の除去	石綿含有仕上塗材の除去工法 仕 仕 上 達	生 上 塗	+	隔泻泥	
	●場内設置 () () () () () () () () () (●屋根葺き材 防水仕様 ●屋根防水 葺き 材種	○手作業及び機械による作業Ⅰ●機械解体作業		コンデンサ, 発電機等) OPOB含有シーリング材 O(A 重油、軽油、廃油)	〇行う 〇保管 〇行わない 〇処分 〇行う 〇再生処理			が の 下 地 類 石こうボード等	M	去工法	養生の要否	
	整督職員事務所の規模は次による。 ○10㎡程度 ○20㎡程度 ●35㎡程度 ○65㎡程度 ○100㎡程度 ●請負者事務所の中に監督員用スペース ㎡程度確保する。 ○上記規模の他に会議室(程度)		●基礎等 ○杭基礎 ○杭の解体 ○有り 杭解体方 杭撤去後	●独立基礎 ○布基礎 ○ベた基礎 ○残體 は ○引き抜き工法 ○破砕工法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		O廃酸・廃アルカリ (臭化リチウム) Oダイオキシン	O行わない O処分 O行う O再生処理 O行わない O処分 O行う O保管 O行わない O処分			のボード 類下地 - コンクリート ALC版等 相	- ○ ● 剥離剤併用手工具ケレン工法 ○ ⇒ 別離剤併用高圧洗浄(30~50M	Pa 程度)工法	否 - 否 要	
	○上記規様の他に休憩室、更衣室 程度 上記に要する費用は、維持、運用費を含め一切施工者の負担とする。 備品は下配ものを備える。 机、特子、電話、書棚、黒板、ゴム長靴、雨合羽、保安帽、安全帯、冷暖房機器その他監督員 の指示するもの		●抜根 ○移植木	・ 付う O残す・ 付う O残す・ 付う O残す○ 有り(移植先:) O無し		ダイオキシン含有建材の解体方法に 〇解体方法(特殊な建築副産物の処分は次による 種類	ま次による。) あ。 回収及び処分	①分場施設名又は所在(Km)	·	系維持	○超高圧洗浄(100MPa以上) エ: ○業 ○	イダーケレン工法 一付き 掃除機併用工法 一付き 掃除機併用工法	要 要	
	仮設便所 ●設ける ○設けない() 足場・解体部養生		●地下埋設物 ●有り(: 解体工事範囲は図示に示された 監督職員と協議を行い確認する 家具及び備品類の撤去は次による。	れた範囲を行う。解体工事範囲に疑義が生じた場合は速やかに する。 る。			○フロン ●回収 ○ハロン ○処分 ○処分 ○処分 ○処分 ○処分 ○処分 ○処分 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			根据系统	 ○超高圧洗浄(100MPa以上)工; ③高圧洗浄(30~50MPa程度)工 ③業に 心装置付きディスクグライク ○図音波剥離機+HEPAフィルター 	I法 (ダーケレン II法	要 要	
	●足場は労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止策要網その他関係法令に従い、適切な材料及び構造のものとし、工事期間中は適切な保守管理を行う。 清播・片付け		○処分品リストに示す家具、備品 ●別途工事	類は適正に廃棄処分する。		○特定化学物質	○処分 ○回収 ○処分		- 6.6.4 除去した石綿含有					
	解体現場は常に整理整頓●安全管理に留意し、清掃・片付けを行う。 敷地内出入り扉 敷地内出入口扉は解体現場敷地内へ他人が容易に入らないよう設置を行う。	13節 解体後の整地 3.13.1 埋戻し、盛土及び 地均し	埋め戻し土 ○現場発生土利用 ○他現場での建設発生土利用(地	砂利用 積場所)	6章 石綿含有到6.1.3	■ 全材の除去及び処理 石綿粉じん濃度測定の実施は次によ	¢る.			分 (2)回収した廃水は、凝集剤などを用いて泥分を沈殿させる。 (3)最終的に余剰となった廃水は、凝集剤などを用いて泥分を沈殿させ、上澄み水はろ: 下水道等に放流する。				
	工事表示板の設置 監督職員が指定する位置に設置する。(計1ヶ所) 表示時期は工事着工時から完成時までとする。	4章 建設廃棄物			石綿粉じん濃度 	●行う ○行わない 測定を行う場合の時期等 測定時期 ●解体工事着手前	測定場所 監督官公庁が指定する場所	測定点數		(4)沈殿物は吸収剤などを 物処理する。 固化した「廃石綿等」の処分	を用いて吸着させるか、セメント によ 分は次による。	:り 固化して、「 廃石綿等」として	て廃棄	
	表示板の形式 例 解体工事の表示 工事名称 構造、現模	4節 再資源化等及び 4.4.1 再資源化等	建設資材廃棄物の中間処理施設及び 種類 建設発生土	再資源化施設 再資源化等をする施設名又は所在(km) ●海内処理 ○場外処分	1	●解体工事中 ●解体工事完了時	監督官公庁が指定する場所 監督官公庁が指定する場所			●埋め立て処分	○中間処理			
	工事期間 年月日~ 年月日 建築主		コンクリ <i>ー</i> ト 塊 アスファルト 塊	搬送距離: km程度() 搬送距離: km程度()					7章 特殊な建設	役副産物の処理				
			建設木くず金属類	搬送距離: km程度()搬送距離: km程度()	3節 石綿含有吹付け材	の除去			1節 共通事項 7.1.3	分析調査は次による。				
	工事施工者 TD. 注1 表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。 2 地色は、マンセル記号(G/7. 5/8とし 黒文宇(角ゴシック)で表現する。		小型二次電池 次の建設廃棄物を再資源化する場合 種籍	搬送距離: km程度() ま次による。 再資源化等をする施設名又は所在(km)	6.3.2 工法	石總含有吹付け材の除去工法・飛覧 除去工法 ●(6.3. 飛散防止処置 ●湿油化	2) による除去工法 〇特殊工法()	施工計画調査	○実施する ○しない 分析調査の対象品目は次によ		づく統字物質		
	2 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	4. 4. 2	○廃棄物処理法に基づく 水銀使用 ○硬質ボリ 塩化ビニル管及び接 ○ガラス 産業廃棄物広域認定制度の適用 ○	服品産業廃棄物 搬送距離: km程度() 手 搬送距離: km程度()	- 6.3.3 除去した石綿含有 吹付け材の保管、 運搬、処分等	石綿吹付け材等の処分は次による。 ●理立処分 ○中間処:				○放射性同位元素等の規制 ○地球温暖化対策の推進に (SNg) ガス	るカノン 層の保護に関する法律に基づく 放射性同位元 に関する法律に基づく 温室効果ガスと 造等の規制に関する法律に基づく 第一	元素 として指定された六ふっ化硫黄		
	工事用水及び電力 工事用水 構内既存の施設 ○利用できる (●有債 ○無債)	産業廃棄物広域 認定制度	適用廃棄物種類	使用部位 4節 石綿含有		の除去			_	〇特定化学物質障害予防抗	規制に基づく 特定物質			
	水道水利用の為にメーターは請負者が設置し利用料金を支払う。 〇利用できない				- 6.4.1 - 石総含有保温材等 の除去 - 6.4.3	石綿含有保温材等の除去工法・飛り 除去工法 ●(6.4.	数防止処置は次による。 2) による除去工法		3節 特殊な建設副産物	動の処理等				
	工事用電力 構内既存の施設 ○利用できる (●有償 ○無償) 電力利用の為にメーターは請負者が設置し利用料金を支払う。 ○利用できない	4.4.3 最終処分	最終処分する建設廃棄物及び最終処 種類			飛散防止処置 ●湿油化	● 国法化 ○ 国形化 ○ 特殊処理() ● 国法化 ○ 国形化 ○ 特殊処理() 参含有保温材等の処分は次による。			(1)フロン系冷媒 フロン排出抑制法の定めに従って回収し、適正に処理すること。 (2)ハロン系消火設備 ハロン消火設備設置業者等にて回収し、適正に処理すること。 (3)池消火の薬剤および水溶液(FCS含む)廃棄物処理法に基ざき、処理業者にて処理すること。 (4)冷凍機用ブライン液 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。				
	デジタル表示の騒音O振動計の設置 ●設置する ○設置しない エ専現場のイメージアップ	AN OCHEJI	廃石綿 石綿含有建材	原石綿 搬送距離: km程度() 石綿含有建材 搬送距離: km程度() 搬送距離: km程度()						(4)冷凍機用プライン液 関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。 (5)都市ガス 設備内の残留ガスを燃焼パージすること。 (6)LPGガス 設備内の残留ガスを燃焼パージすること。 (7)PGB 以下の機器について含有成分調査し、適正に激去、及び委託処分まで行うこと。				
	O行う ●行わない				5節 石綿含有成形板等	の除去			\dashv	の無明確果の)安定器 〇変圧器 〇コンデン) 元电版		
		5節 処理に注意を要す 4.5.1	(イ)(b)ひ素・カドミウム含有せっこ	ラボード の処理は次による。 再資源施設の受入条件を確認のうえ、適切に分別した後、	6. 5. 1 石綿含有成形板	石綿含有成型板の除去工法・飛散II 除去工法 ●(6.5. 飛散防止処置 ●シート	2) による除去工法 O特殊工法()	[
orb. h7/146		処理に注意を要する建設廃棄物	再資源化施設で再 再資源化施設で再 (4)(c)② ○最終処分する場合は、 処理に注意する建設廃棄物の処理	資源化する。	等の除去 6.5.3 除去した石綿含有 石綿板の保管、運	- 飛載助血処温	除く)の処分は次による。		•					
3章 解体施工		4	種類 OCCA処理木材	処分場 施設名又は所在(Km)	搬及び処分等									
3. 2. 1	インフラ切断位置 ・ 込み物	1	Oひ素・カドミウム含有 石膏ボード		-									
事前措置	・ 給水管 ○建物から mで切断ブラグ止め ●敷地外の本管まで撒去 ・ 排水管 ○建物から mで切断ブラグ止め ●敷地外の本管まで撒去 ・ ガス管 ○建物から mで切断ブラグ止め ●敷地外の本管まで撒去		0 0		- - -									
	・電気配管 ○建物から nrc切断・端部処理 ●一次側接続点まで撤去 ・ケーブル ○建物から nrc切断・端部処理 ○一次側HH内で切断・端部処理				_									
	●一次側接続点まで撤去 ・その他 〇建物から mで切断 ●本管まで撤去		産業廃棄物の処理等		_									
	・水槽・オイル 〇浄化槽、排水層等の洗浄、消毒等の手法は下記による ()	1節 共通事項 5.1.2	分析調査は次による。		1									
	Oオイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の、洗浄等の手法は下記による ()	施工計画調査	●行う O行わない											
·書番号G73-23-2024G301 建物解析	本工事 保尼世禮書-2									他名				
	打正			=						岩手県立宮	了古商工高等学校商業校 舎	部室棟等解体工事		
				7				+		建物解体工	事 特記仕様書-2	A1 版 A3 版	DA-002	

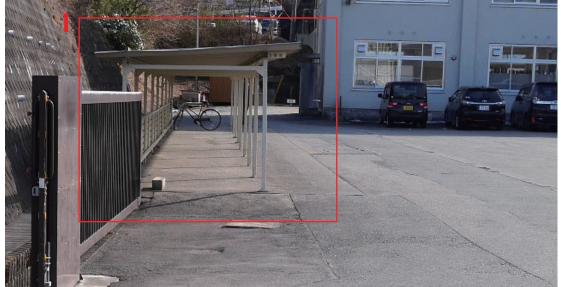




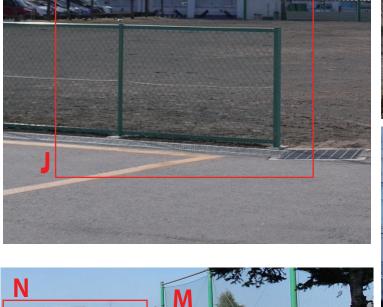


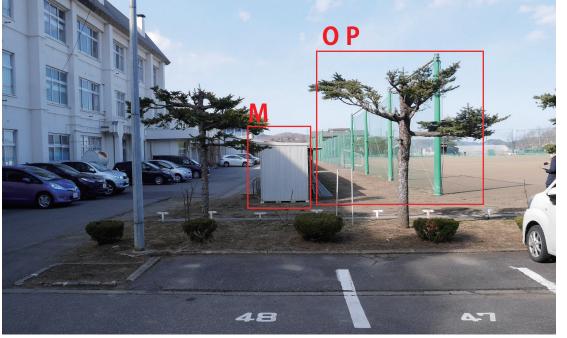


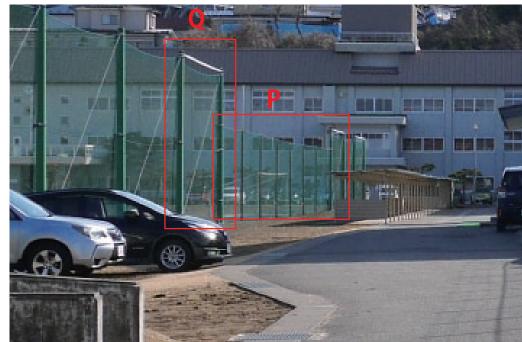




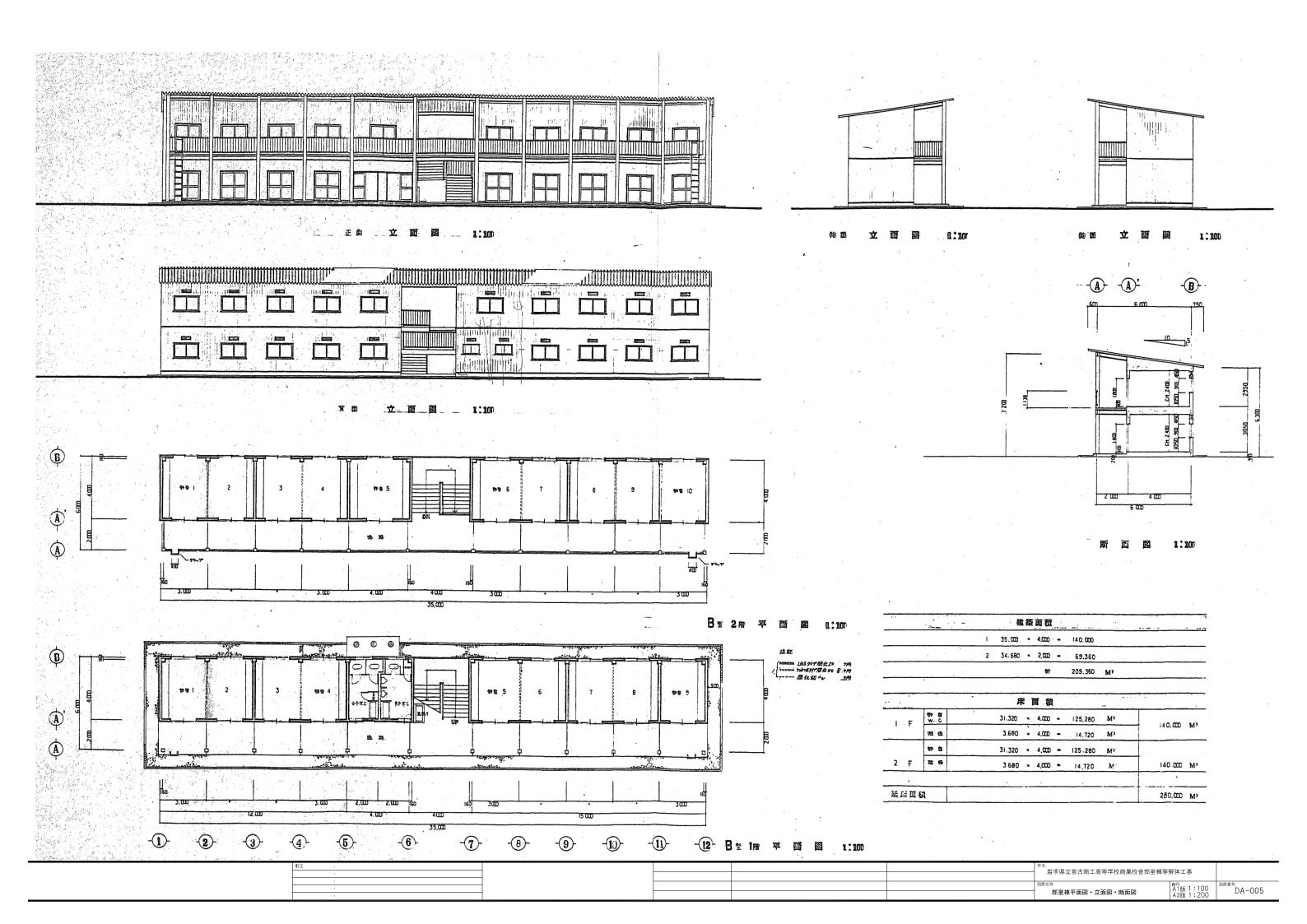








TE .			件名	+ 64- 67 () - +	
•			岩手県立宮古商工高等学校商業校舎部室棚		
•			図面名称	箱尺	図面番号
			解体工作物概要	A1版 -	DA-004



								* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
外部仕上表										
		容								
園 根	カテ・丸ハゼ・折波 (?) 6.8 2 章(ヨドル・フ 50 ハゼ・南等品) 勾配 1.5 / IO 新 先 歴 戸・ タイトフレーム (知 変 新 かままな)							÷ .		
群 天 井	关部及DEIQQE) (DPC)			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
外。豐	センターサイティング・殊(PBでで場合)附属全物付 水切:カラー鉄液(P0.4%折曲加工							,		
題 口 部·	アルミサッシ (辺界 毛本60)									
お食豆り	コンクリートな校り権修仁上			Market Street 1 Street Street						
" " " " " " " " " " " " " " " " " " "									,	
渔 跬	1階: コンクリートコテ仕上、目地押工 ウイヤー Xッシュ人	(100×100×3.2) 2	スキール手指 C.Pus							
足洗イ	防水モルタル全ゴテ押工. アレーチング、1000 × 300 × 25 ステンレスフック、1ケ (グラッ族)									
リノ他	大連: 洗砂利較 ¢25% (P)(00%. 上間下: ポッ	エテレンフィルム *** 0.	15%软(全面)		,					4,
内部仕上衰	777	ベスト(クリソタイル	·)含有 含有率6.0%		アスベス ト(クリ	ソタイル)含有 含有率3	.0%			

内部仕上衰

アスベスト(クリソタイル)含有 含有率3.0%

<u> 18 - 18 - 18 - 18 - 18 - 18 - 18 - 18 </u>								//	1							
	窗 名			床	巾				•					個 容		
			下地	位上		H	下地	4 2		下地	/ & L	題り急	CE	· .		
	#	73 BC		コンクリートコテ仕上	№ 0P(3)	75	木服器 45×24 97.33共 LG-5 © 303	ラワンベニヤの5.5%目が	es os	LG5	シプトーンの9%表 (910×910)	木製	2.400	室名和(文字各共)、 造石「森」、 挟矢かラリ		
1 階	*	男子 W C	工物コンクリート	モルタル金ゴテ仕上	モルタル全ゴテ	100	木斯錄 45×24.97.33 LGS @465		上 事等シ VP(2) 学で,25% VP(2)	. 全上	石締セ×ント及の5次目並う VP(2) . (円ジョイナー共)	木盤	2.400 2,500	室名礼(文字音共). 地付派ひ. 投号(かラ)・ステンレス/ペイプ259(5倍付) 大保器17、小便思25、仕口スクリーン 便宿 附周品−玄、4±10年/th		
	₩.	z,3 WC	수 드	호 上	全上	100	全上	全 、上		全上	会 上	木製	2 400 2 500	電名礼(文字含入). 進行流型、接続がラリ、ステンレス/ペイプ259(S倍付) 大便器27		
				at the second second												
2 P	畫	野童	テルキ プレート	豆砂利コンクリートコティエ上	杉 OP(3)	75	木版袋 45×24 97.33共	ラワンペニヤの 5.5 火起	£Ð ØS	LGS	シプト-ング9%祭 (910×910)	木製	2.400	変名礼(文字を共)。 途(寸期) 、 ・ 		
											,					
						-						:		,		

* *			<u> </u>	* .		A			
. # b	⊕	₩	***		*************************************	2 未洗。郑会	WTB 运程的现在	NTE . 洪 联 成 成 投 合	WIB PARE
	A 2		- 17	2		1.	/	. 1	1
Q	B 車 19	2	19	2			ı	ı	1
B	C 包 21	2	21	2	1	1	1	1	. 1
	1700	800 E7-7LZ	1.600	1.100	500 140 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	500 600 600 550 550 550 550 550 550 550	500 600 451 (65)	600 502 600 1862 160	40 550 40
形式	引塩イ戸	片 引 牛 戸	引進イ宛	全 左	トイレグース	全 / 左	全 左	4 #	静脉用具入
a b	アルミ	全 左	全 左	호 左	ボリ合核フラッシュの40%	全 / E	全 左	2 £	全左
田上	シルバー	金 左	全	순 左					'
相子	574%型級かつス	全 左	소 도	全					
T a		4	* *		/ラバトリーヒンジ	<u> </u>	企 #	全 左	全龙
6	シリンダー錠	全 左	クレセント	송 돈	表示她 (从4部14)	/s E	全 左	全左	
貧ノ他	引手、下枠ステンレスレール	\$ E			戸当り、内包子符ト・・・	/ 全 左	4	☆ 左	アギリ、ファ
日油	エアープレス、際アルミパネルの2.0%	含 左		BEP11	取付全物~式、頭ッケギステンレス	全 左	全左	全走	全生
	見込60	\$ %	全 左	全 左	V .			,	
							ı	•	

訂正		件名	AT (1	
•		看手県立宮古商 上 高寺字校商業校舎部至棟寺	解体工事	
•		図面名称	縮尺	図面番号
			A1版 1:50	DA-006
•		印主体は工权 注六权	A3版 1:100	

